

今週（6月17日から6月21日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、新しい積み期間となったが、相場に大きな変化は見られなかった。引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが極めて強く、週を通して0.07%台での出合いが中心となった結果、20日(木)までの加重平均レートは、0.077%の横這い推移となった。週末となった21日(金)も概ね同様の展開が継続された。

ターム物については、1W～3M程度の期間で引き合いが多く、0.15～0.30%近辺で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は548兆円台からスタートした。その後は緩やかな増加傾向となるなか、20日(木)の国債大量償還・利払いを受け557兆円まで大幅に増加したが、21日(金)に5年債の発行要因により、555兆円程度まで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は0.03～0.095%近辺で推移した。入札を消化するごとに、ファンディングニーズによるオファーが増加したことから、日を追うごとにレートが上昇した。

SC取引の個別銘柄では、2Y440～461回、5Y150～168回、10Y355～374回、20Y180～187回、30Y65～81回、40Y13～16回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンと1Yゾーンが堅調に推移した。

19日に行われた1Y物の入札は、強い結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小じっかりと推移した。21日に行われた3M物の入札も、強い結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、小甘く推移した。いずれも退避資金の流入や担保ニーズの強さから良好な需給環境を反映する入札結果となった。

●CP市場

今週のCP 発行市場は鉄鋼、卸売、機械等の業態で大型発行が見られた。

市場発行残高は、23兆円台後半から24兆円程度で推移している。

発行レートは、総じて0.1%以上で推移しているが、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
6/17（月）	38,102.44	0.925	157.44	0.077	0.056	5,483,000
6/18（火）	38,482.11	0.940	157.68	0.077	0.045	5,488,900
6/19（水）	38,570.76	0.930	157.84	0.077	0.058	5,509,700
6/20（木）	38,633.02	0.950	158.03	0.077	0.076	5,570,900
6/21（金）	38,596.47	0.975	159.00	0.077	0.086	5,541,900

来週（6月24日から6月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/24 (月)	決定会合における主な意見(6月13・14日分 8:50)				
6/25 (火)	5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 4月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	20Y 10,000億円 6/26発行			4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数
6/26 (水)					5月の米新築一戸建て販売件数
6/27 (木)	月例経済報告 (内閣府) 1-3月期の資金循環統計速報(日銀 8:50) 5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 26,000億円 7/1発行			1-3月期の米GDP確報値 5月の米耐久財新規受注
6/28 (金)	6月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 55,000億円 7/1発行			5月の米個人所得・消費支出(PCE) 6月のシカゴPM景況感指数 1-3月期の英GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/24 (月)	100	4,000	4,100	CP買入 国債補完	▲ 300 25,100		24,800	28,900	TB3M発行▲55,000償還58,000
6/25 (火)	▲ 500	6,000	5,500				0	5,500	
6/26 (水)	▲ 500	▲ 15,000	▲ 15,500	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 23,500	20Y発行▲10,000
6/27 (木)	▲ 1,000	8,000	7,000				0	7,000	
6/28 (金)	▲ 200	7,800	7,600	CP買入		3,000	3,000	10,600	地方譲与税譲与金
週 間 合 計	▲ 2,100	10,800	8,700	—	16,800	3,000	19,800	28,500	

6/24は日銀予想、6/25以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き強い資金調達ニーズを背景に、0.077～0.078%近辺の出会いが中心となることが予想される。債券レボGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ0.04～0.10%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、28日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、25日(火)にCP等買入オペが3,000億円で実施予定となっており、レート動向が注目される。また、26日(水)には月末発行を控えており、四半期末越えの発行がどの程度膨らむかも注目される。

主要なイベントは、国内では24日(月)に決定会合における主な意見(6月13・14日分)、28日(金)に6月の都区部消費者物価指数、海外では、26日(水)に5月の米新築一戸建て販売件数、27日(木)に1-3月期の米GDP確報値、28日(金)に5月の米個人所得・消費支出(PCE)、1-3月期の英GDP確報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入